

## 2011年度第11回執行理事会議事録

期日：2012年5月19日（土） 10:00～12:00

場所：北とぴあ 801会議室

出席者：宮下会長 渡部副会長 藤本常務理事 斎藤副常務理事 石渡 井龍 坂口 高木 内藤 中井 西 平田 星 藤林 向山 山口 各理事、（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：久田副会長 小嶋

\*定足数（12、委任状含む）に対し、出席者 16名、委任状 2名、合計 18名の出席。

\*前回議事録の承認

### I 審議事項

#### 1. 大学からの問い合わせ回答案について

顧問弁護士、法務委員長と相談の上、回答書案を作成した。本学会出版物に発生した問題ではないので、地質学会として判断する立場にない内容についてはその旨回答し、地質学雑誌、の著作権管理の仕組みに関する資料（地質学雑誌編集出版規則、保証書、倫理綱領等）を回答書に添付する。また、回答書案の時候の挨拶等は削り、直接本題に入る文章とする、回答 1) の文章からも相手側を推諭するような文言は削除するなどの修正を加えた。

今後のこととして、地質学会の出版物について引用の不正が起きた場合、どのような対応をすべきか検討する。

#### 2. 地質学雑誌補遺：巡検案内書 CD-ROM を 8 月号に添付する件について

大阪大会の巡検案内書は冊子版の出版がなく、CD-ROM 版の発行のみである。原稿は年会開催以前に完成する見込みなので、従来は雑誌 12 号に補遺として添付している CD-ROM 版を、8 月号に添付したい旨、山路編集副委員長より提案があり、承諾した。ただし、CD-ROM 版に出版日を記載して出版することとした。

また、大阪大会巡検案内書担当の竹村代議員より、運営規則第 12 条に、刊行物として巡検案内書は CD-ROM 版と冊子版の記載があることが指摘されたが、この冊子版部分の修正については今後対応することとした。

#### 3. アウトリーチセッションの新設について

星行事委員長より、レギュラーセッション、トピックセッションと並ぶ、アウトリーチセッション「名称：日本地質学会アウトリーチセッション（市民向けポスター展示会）」の新設が提案され、承認された。大阪大会の予告記事で募集開始する。

なお、アウトリーチセッションは追加発表負担金がないことから、目的から外れた発表が出ないよう注意する。

#### 4. 総会運営確認

議案説明分担、時間等の確認をおこなった。

1号議案中の各賞の紹介、4号議案の幹事辞任については若干の説明をすることを確認。

## 5. その他

1) 物品のオンライン販売については試験的に開始する(メール審議の確認)

会員割引等については今後検討する。

2) 巡検露頭がいつのまにか看板もなく保護区域になっていたりする例が少なからずあるので、今後は情報収集の必要がある。会員からの身近な情報提供を呼びかけ、情報収集につとめる。

## II 報告事項

### (1) 運営財政部会：総務委員会

＜共催・後援依頼、他団体の募集等＞

1. 日本科学技術財団より、青少年のための科学の祭典 2012 (5/12-3/31、東京はじめ全国 109 会場) の協賛依頼→例年通り承諾

2. 岡山理科大学地球惑星環境研究センター(担当応用物理学科 豊田 新)より、国際会議 3rd Asia Pacific Conference on Luminescence and Electron Spin Resonance dating : including non-dating applications of Luminescence and ESR の協賛依頼→承諾

3. 日本原子力学会より、「原子力総合シンポジウム 2012」の共催依頼と運営委員の推薦要請あり → 共催については例年通り承諾、運営委員は高橋正樹理事を推薦。

4. 国際火山学地球内部化学協会 2013 年学術総会「IAVCEI2013 Scientific Assembly」(2013/07、鹿児島) について同組織委員会から後援依頼→承諾

5. 尾瀬保護財団より「第 16 回尾瀬賞」の募集 (4/1-8/31 まで) →News 誌、HP に掲載

6. 山田科学財団より、国際学術集会開催助成：募集期間 4/1-2013/2/28、会議規模 150 名以内、助成金額 700 万円以内→News 誌、geo-flash, HP に掲載

7. 学術審議会測地学分科会(分科会長 藤井敏嗣)より、「地震及び噴火予知のための観測研究計画」(計画期間：平成 21 年度～25 年度)の見直し計画案についての意見要請があり、会長が意見を提出した。

＜その他＞

・技術者教育認定機構 JABEE の総会開催 5/21 欠席

・大学評価・学位授与機構より、機関別認証評価に係わる専門委員(平成 24 年度実施分)の選考結果として、当学会からの推薦者は見送りとの連絡あり。

・基礎地盤コンサルタント新社長：岩崎公俊氏

＜会員＞

1. 今月の入会者(16 名)

正会員(3 名) Asri Jaya, 佐藤悠介, 上島昌晃

正〔院割〕会員(13 名) 宗田和希, 野口周平, 村井辰太朗, 小林由季, 関 琢磨, 南

裕介, 鈴木慶太, 木村 元, 半田玲奈, 中村めぐみ, 吉田開祐, 大山美帆, Chemnad Razak  
Abdulla Nasheeth

2. 今月の退会者 (1名)

正会員 (1名) : 安原盛明

3. 今月の逝去者 (2名)

正会員 : 熊崎憲次(逝去日 : 5/2), 福田登志郎 (5/4)

4. 4月末日会員数

賛助 : 26 名誉 : 71 正会員 : 3887 正会員 : 3783 正 (院割) 会員 : 100 正 (学部割) 会員 : 4 合計 3984 (昨年比 -64)

<会計>

・合同大会の会計については、年度末に決算が間に合わず、今年度の未払い扱いとする。

(2) 広報部会 : 広報委員会 (坂口、内藤)

・ジオルジュ創刊号が発行 (5/10) された。会員には 5 月号雑誌とともに配布予定。

その他、博物館、地学部等のある高等学校、その他機関購読の可能性のあるところに宣伝のために配布する。

・地質学会物品販売のオンライン化について検討し、販売を開始。

(3) 学術研究部会 : 行事委員会 (星)

・大阪大会について

大阪大会キャッチコピー「都市から発信する地質学」、その他スケジュール等の説明

・復旧復興に関わる調査・研究事業の発表はポスター会場で開催。

・地学教育委員会として、新旧の地学教科書の比較展示・解説を考えている。

(4) 学術研究部会 : 国際交流委員会 (石渡)

韓国地質学会会長 Yu, Kang-Min 延世大学教授を大阪大会に招待する準備を進めている。

(5) 学術研究部会 : その他

(6) 編集出版部会 : 地質学雑誌編集委員会 (小嶋編集委員長)

1) 編集状況報告 (5 月 15 日現在).

・2012 年度投稿論文 総数 49 編 [総説 4 (和文 4), 論説 27 (和文 24・英文 3), 報告 2 (和文 2), ノート 3 (和文 3)] 口絵 3 (和文 2 英文 1)・巡査案内書 10

・査読中 31 編

・受理済み 33 編 (うち通常号 17 特集号 16)

・118 卷 5 月号 : 特集号「東北地方太平洋沖地震 : 統合的理説に向けて」(世話人 : 岩森 光ほか) (5/22 校了予定)

2) 委員長交代 (小嶋→山路)・委員の退任

(7) 編集出版部会 : アイランドアーク編集委員会 (井龍編集委員長)

・編集状況報告

(8) 企画出版委員会 (山口)

- ・地方地質誌“東北”および“四国”は今夏から秋にかけ出版編集にかかるとのことが朝倉書店編集部から報告があった。この2巻で刊行終了となる。

(9) 社会貢献部会（藤林）

- ・地質の日行事「街中ジオ散歩 in Tokyo」（5月13日）は無事終了、32名の参加者があった。

(10) ジオパーク支援委員会（高木）

第5回ジオパーク国際ユネスコ会議は5月11日～15日に島原市で開催され、31カ国593名（過去最多）が参会した。ジオパーク閉会式に「島原宣言」が発表され、ジオパークがユネスコの支援事業から直接事業になる可能性が記されている。詳細は日本ジオパークネットワークのホームページ参照。

(11) 地学オリンピック支援委員会（久田）

(12) 震災復興事業プラン検討WG（高木・向山・藤本・斎藤）

- ・昨年度の復旧事業プラン紹介のため、地惑連合の地質学会ブースに宣伝ポスターを貼ることとした。

(13) 連携事業委員会（渡部）

(14) 支部長連絡会議（渡部）

(15) 地質災害委員会（斎藤）

- ・学術会議の震災以降の対応をする28学会に入っていないので、情報収集する。
- ・紀伊半島の災害は応用地質学会と地盤工学会で継続して検討が行われているが、地質学会が外れている。

2012年6月9日

一般社団法人日本地質学会執行理事会  
会長（代表理事） 宮下 純夫  
署名人 執行理事 藤本光一郎